

税制調査会（第2回マイナンバー・税務執行ディスカッショングループ）

終了後の記者会見議事録

日 時：平成25年11月28日（木）15時35分～

場 所：財務省第3特別会議室（本庁舎4階）

○神野座長

本日は、2回目のディスカッショングループの会合を開き、3つの組織からヒアリングを頂戴しました。国際公共政策研究センターから、田中直毅理事長及び金子主任研究員の説明がありました。2番目は、地方公共団体からのヒアリングとして、川崎市の庄野理事から、市の取組状況等を報告いただきました。最後に、厚生労働省の山沖審議官から取組状況やこのディスカッショングループへのコメントを頂戴しました。

このディスカッショングループの会議は、今年はこれで打止めにして、また来年開催させていただきます。今年に関しては、今日が最終となります。

○記者

今日で2回のヒアリングが終わって、最後に提案がありましたが、これまで個人のマイナンバーの活用の議論ということでしたが、12月2日の総会の後は、ディスカッショングループを再開して、今度は法人番号の活用という議論になってくるのか、今後の議論の流れがどうなるのか教えてください。

○神野座長

まだ決めているわけではないのですが、本格的な検討に移る前に、準備的な段階として議論を積み重ねておくということが必要だと思っています。最後に御指摘いただいたのは、法人課税の問題だけではなく、税務執行上、納税協力を含めた議論をというお話で、2つの課題提供をいただきました。それを含めて、これまでのヒアリング等を整理した上で、来年度、どのような形で進めていくのか考えて、かつ会長とも御相談した上で課題を設定したいと思っています。法人番号だけに移っていくのではなく、課題の1つとして取り上げたいと思っています。

○記者

今度の12月2日の総会には、これまでの2回のヒアリングの結果として、どのような報告をするのか教えてください。

○神野座長

6件お聞きしたヒアリングや御意見の内容やどのようなことが議論の論点になっているかを含めて、事実としてお話をします。

例えば、今日も少し問題になったことですが、資産の把握の問題や幾つかの論点を含めて事実をお話しします。繰り返すようですが、方向性を固める議論をしたわけではないので、出ている議論と、主に絞られてきている論点を要領よく紹介できればと思います。

[閉会]